

帯広信用金庫の環境への取組みについて

【地中熱ヒートポンプシステム】

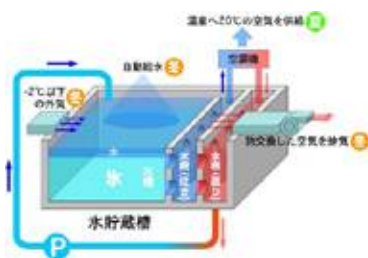
中央支店、柏林台支店では、地下の温度が年間を通じてほぼ一定であることを利用し、駐車場の下に掘った地下 70 メートル以上の深さの穴（ボアホール）に採熱用パイプを通し、不凍液を循環させて冷暖房として活用しております。



【氷冷房システム・屋上散水】

冬季には気温がマイナス 20 度を下回ることもある十勝の自然環境を活用した、クリーンな冷房システム。柏林台支店では厳しい寒さが続く冬の間、地下の氷貯蔵槽に外気を利用して氷約 140 トンを自然製氷し、夏に空気を循環させて冷房として活用します。

また、氷が全て溶けた後も、残った水を屋上に散水。水の気化熱を利用し、屋根の表面温度を下げ小屋裏温度上昇を抑えます。



【壁面垂直型太陽光パネル】

晴れの日が多く、日照時間が長いという十勝の地理的優位性を活かし、札内支店、柏林台支店では太陽光発電を利用しています。冬期でも安定した電力を得られるよう、積雪による影響の少ない壁面垂直型太陽光パネルを導入しています。

